



ひっちゅう

令和7年3月25日発行 第4号

札幌市立羊丘中学校

<https://www.hitsujigaoka-j.sapporo-c.ed.jp/>



令和6年度の本校の教育活動への御理解・御支援に感謝して

保護者・地域の皆様、本日をもって令和6年度の羊丘中学校の教育活動が全て終了いたします。羊丘中学校の教育活動に、多くの御理解と御支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。来年度の更なる成長への願いを込めた修了式の講話を以下に掲載いたします。



『新しい羊丘中学校を目指して』

校長 小林 大介

今日で令和6年度が終了します。この1年は、学校生活や各行事を通して心も体も大きく成長できた年になったのではないのでしょうか。皆さんは今年度の自分の学習や活動を通して「考える人 心豊かな人 たくましい人 公共につくす人 思いやりのある人」にどこまで近づいたのでしょうか。

行事ごとに振り返ると、まず初めに旅行的行事がありました。2年生は旭川方面への宿泊学習、1年生は千歳方面への校外学習と、学校を離れ、計画に沿って集団で行動し、仲間と協力しながら学ぶことの大切さを学びました。

学校祭では一人一人の力やアイデアを組み合わせる創造する楽しさを実感しました。

合唱発表会やヒツジンプックでは学級のつながりとそのエネルギーの高まりを感じることができたと思います。それぞれの行事での取組を振り返って、自分がどの目標にどれくらい近づいているか考えてみてほしいと思います。

さて、来年度の行事について皆さんお話ししたいことがあります。学校祭と合唱発表会を合わせて一日で行う予定です。また、合唱については学年合唱にしていきます。その大きな理由の一つとしては、1学期に旅行的行事やヒツジンプックでの学級づくり、2学期に学校祭での各部門発表と学年合唱での学年づくり、そして卒業式での学校づくりと学校行事を位置付け、1年間通して羊丘中学校を皆で作り上げていきたいということです。もう一つは、自分の将来や社会に目を向けるためにも、総合的な学習の時間の課題探究に力を入れたいと考えています。「自分で考え、判断し、自分から行動する力」を身に付けてほしいということです。

新しいことを始めるときには不安がつきものです。一歩を踏み出す勇気が必要です。でもその勇気こそが自分たちを成長させ、新しい未来をつくり出す力になるのです。

来年度、3学年新しい標準服でそろいます。これも新しい羊丘中学校を全員でつくるきっかけになると考えています。ぜひ、一人一人の意識を高め、これまで以上に素晴らしい羊丘中学校をつくってほしいと思います。

来年度からの「学校だより」について

これまで紙で配付していましたが、「学校だより」につきましても、「すぐーる」での配信とさせていただきます。また、地域・町内会の皆様におかれましても、これまでの回覧を取りやめ、学校ホームページへの掲載のみとさせていただきますので、ご了承ください。